

宮城県仙南・仙塩広域水道事務所

令和8年度事業概要



令和8年4月

1. 令和8年度の取組方針について

宮城県企業局経営戦略2025(令和7年3月策定)における「安全で安心な水の確保」、「災害に強い強靱な施設と体制の構築」、「持続可能な水道経営」という3つの施策目標の達成のため、令和8年度においては、管路の耐震化や適切な維持管理を実施するとともに、令和4年度から開始した「みやぎ型管理運営方式」の円滑な事業推進と積極的な情報公開・情報発信に取り組んでまいります。

【最重点事項】 みやぎ型管理運営方式の円滑な事業推進と適切且つ積極的な情報公開・情報発信

(1) 運営権者とのパートナーシップのさらなる深化に向けた取組

- ・維持管理部門とは毎朝夕のミーティング、改築部門とは月例の工事連絡会議、意見交換会等の定期打合せを実施することで、課題等を共有しながら解決に向けて、運営権者と連携し、より深化させて取り組みます。
- ・災害や事故発生時、迅速かつ適切に対応できるよう、運営権者とともに各種訓練を実施し、緊急時における連携強化と対応能力の向上を図ります。

(2) 複層的なモニタリング

- ・運営権者から提出される「書面(各種計画書・報告書等)」を確認するとともに、上記の毎朝夕のミーティング、意見交換会等を通じて複層的なモニタリングを着実に行っていきます。
- ・本格化してくる運営権者の改築業務に対しては、必要に応じて職員が現地で臨場して、機器仕様や要求水準等を相互に確認し、品質向上と事故防止を図るほか、職員の技術力向上に努めます。
- ・モニタリングの結果については、要求水準と照らして評価の上、運営権者の業務改善等へ『フィードバック』することにより、一層の連携強化を図ります。

【施策目標1】 安全で安心な水の確保

(1) 良好な水質の確保

- ・令和8年度よりPFOS・PFOAの検査が新たに水質基準項目へ格上げとなり、検査地点や検査頻度に変更となることから、水質検査を適切に実施して数値の確認を行い、関係者で情報共有を行います。
- ・令和7年度において、南部山浄水場では初めてかび臭対策としての活性炭注入を行ったことから、スカム排水や沈殿池の清掃等の頻度を確認しながら、受水点におけるかび臭物質の濃度についても注視し、上昇傾向がみられた際には、迅速に運営権者へ情報提供を行い、運営権者とともに必要な対策を講じます
- ・トリクロロ酢酸等消毒副生成物の濃度上昇対策について、これまでの蓄積データを参考にして、濃度上昇想定期間の水質検査を強化するとともに、塩素処理の段階的な切替について助言し、濃度上昇の抑制を図ります。

【主な取り組み】

- 水質検査計画に基づく水質検査の実施
- 夏から秋にかけての消毒副生成物項目の動向監視

【施策目標2】災害に強い強靱な施設と体制の構築

(1)耐震化の更なる推進

- 東日本大震災を踏まえた管路の耐震化は、松島支線L=2.5kmのA型管（非耐震管）のGX型管（耐震化）への更新工事について、令和8年中の工事完成を目指して着実に推進します。
- 東日本大震災で主な被災箇所となった伸縮可とう管は、全237箇所のうち要補強箇所と判定された伸縮可とう管は69箇所あり、令和8年度においても着実に事業を推進します。

【主な取り組み】

- 松島町内の非耐震管路の耐震管更新工事の実施
- 伸縮可とう管の補強工事の実施
- フロック形成池・沈殿池の耐震補強工事の実施
- 着水井・高区調整池の耐震詳細設計の実施

(2)組織の活性化及び人材育成

- ベテラン職員の退職が進んだことで、知識・技術の継承、職員数の減少による組織として維持すべき技術力を確保するため、外部派遣研修、南部山塾等を積極的に活用することで、職員として必要な能力の習得と技術力の維持向上を図ります。

【施策目標3】持続可能な水道経営

(1)カーボンニュートラルの推進と資源の活用

- 仙南・仙塩広域水道用水供給事業におけるダム計画取水量（300,000m³/日）と現在の許可水利権（240,400m³/日）の差分である「未利用水（59,600/日）」を活用し、南部山浄水場と児捨川までの落差（約140m）を使った小水力発電施設について、令和9年度からの発電開始を目指して、着実な事業進捗を図ります。

【主な取り組み】

- 南部山浄水場小水力発電工事

(2)水道施設の適切な維持管理

- 導・送水管路パトロールや弁類等の各種点検を定期的に行い、管路の状況、設備の動作確認等を行うとともに、異常箇所の早期発見と適切な時期・方法により修繕等を行い、施設の機能維持を図ります。

【主な取り組み】

- 職員による管内11コースの管路パトロール(年2回/1コース)の実施
- 業務委託による管内6区分の管路パトロール実施、補修
- 業務委託による各施設・各種設備の点検
- 電気防食設備設置工事、マンホール等修繕工事の実施
- 船岡水管橋支承修繕工事の実施
- 浄水池頂版補強工事の実施

2. 令和8年度実施工事・委託の概要

2-1 令和8年度工事一覧

凡例：_____は実施中(発注済み)

○水道施設の耐震化の推進

番号	工事名	施工地名	ページ
工事1	松島管路更新工事	宮城郡松島町桜渡戸地内外	5
工事2	フロック形成池・沈殿池(No4)耐震補強工事	白石市福岡長袋字南部山地内	5
工事3	下馬伸縮可とう管補強工事	多賀城市下馬五丁目地内	6
工事4	長命ヶ丘外伸縮可とう管補強工事	仙台市泉区长命ヶ丘三丁目地内外	6

○水道施設の適切な維持管理

番号	工事名	施工地名	ページ
工事5	浄水池頂版(1系)補強工事	白石市福岡長袋字南部山地内	7
工事6	中谷地制御室排泥弁設置工事	岩沼市南長谷字中谷地地内	7
工事7	船岡水管橋支承修繕工事	柴田郡柴田町船岡土手内地内	8
工事8	砂押川水管橋外電気防食設備設置工事	宮城郡利府町飯土井地内外	8
工事9	太白坪沼外舗装本復旧工事	仙台市太白区坪沼地内外	6
工事10	浄水池頂版(2系)補強工事	白石市福岡長袋字南部山地内	7
工事11	沈殿池(No3)覆蓋設置工事	白石市福岡長袋字南部山地内	9
工事12	松島海岸IC送水管移設工事	宮城郡利府町赤沼地内	9
工事13	砂押川水管橋塗装修繕工事	宮城郡利府町飯土井地内	10
工事14	送水施設護岸修繕工事	刈田郡蔵王町宮地内	10
工事15	送水施設マンホール・標識修繕工事	管内一円	10

○ダム使用権の未利用資産活用による南部山浄水場小水力発電事業の推進

番号	工事名	施工地名	ページ
工事16	南部山浄水場小水力発電施設建設工事	白石市福岡長袋字日影地内	11

2-2 令和8年度業務委託一覧

凡例: _____ は実施中(発注済み)

○水質管理の徹底

番号	業務名	業務地名	ページ
検査1	水道水質基準項目等検査業務委託	白石市福岡長袋字南部山地内	13

○水道施設の耐震化の推進

番号	業務名	業務地名	ページ
設計1	着水井耐震補強実施設計業務委託	白石市福岡長袋字南部山地内	12
設計2	高区調整池耐震補強実施設計業務委託	仙台市太白区茂庭字大堤地内	12
調査1	洗浄水槽耐震診断業務委託	白石市福岡長袋字南部山地内	12
調査2	生瀬水管橋伸縮可とう管支障物件調査業務委託	仙台市青葉区郷六地内	6

○水道施設の適切な維持管理

番号	業務名	業務地名	ページ
点検1	送水施設等巡回点検(高区1~4工区)業務委託	導水・高区系送水管路	13
点検2	送水施設等巡回点検(低区1~2工区)業務委託	低区系送水管路	13
点検3	高区系外各種弁類点検業務委託	白石市福岡長袋字南部山地内外	13
点検4	送水管電気防食設備保守点検業務委託	白石市福岡長袋字愛宕前地内外	13
点検5	末端受水地点水質監視装置点検業務委託	山元町山寺字新山地内外	13
点検6	移動無線設備保守点検業務委託	白石市福岡長袋字南部山地内	13
点検7	生瀬水管橋外定期点検業務委託	仙台市青葉区郷六地内外	14
設計3	浄水池頂版(2系)補強詳細設計業務委託	白石市福岡長袋字南部山地内	7
設計4	藤田川水管橋支承修繕詳細設計業務委託	宮城郡利府町森郷地内	14
調査3	足立外連絡管電気防食設備調査業務委託	柴田郡村田町足立地内外	8

工事1 松島管路更新工事

七ヶ浜町、利府町、松島町内の管路の一部は、ダクタイトル鑄鉄管の中でも継手に耐震性のないA形管(ボルトとナットで締め付けて接合する方式)で布設されており、大きな地震が発生した場合、管が抜けて漏水する恐れがあることから、耐震性のあるGX形管(最新の標準的な耐震継手)に更新する工事を実施しています。

令和4年度までに七ヶ浜町、利府町の管路更新工事が完了し、令和5年度から松島町内の管路更新工事を実施しており、令和8年中に工事を完成させ、全ての管路の耐震化を完了する予定です。

【令和8年度概要】

工事1 松島管路更新工事 送水管布設工(DIPφ300mm、GX形) L=2,506m
 (R5~R7継続工事) 不断水分岐工(φ300mm×300mm) N=9箇所
 (R7繰越) 既設管撤去工(DIPφ300mm、A形) L=2,456.2m



年度	実施内容
H29	調査設計1(七ヶ浜工区φ300mm)
H30	調査設計2(利府・松島工区φ300mm)
R1~2	更新工事(七ヶ浜工区DIP・A形→GX形)
R3~5	更新工事(利府工区DIP・A形→GX形)
R5~8	更新工事(松島工区DIP・A形→GX形)

工事2 フロック形成池・沈殿池(No4)耐震補強工事

仙南・仙塩広域水道用水供給事業の浄水施設(基幹土木施設)は、平成2年度の供用開始から35年が経過しており、現在の耐震設計指針に求められる耐震性能を満たしていないものもあることから、平成22年度に耐震診断(一次及び二次)を行い、対策が必要とされた施設に対しては耐震設計・工事を順次実施しています。

令和8年度は、耐震補強が必要とされているフロック形成池・沈殿池のうち、4系の耐震補強工事を実施します。

【令和8年度概要】

工事2 フロック形成池・沈殿池(No4)耐震補強工事 コンクリート増厚工(t=15cm)V=55m³
 (R6~R8債務負担工事)



工事3・4・9 伸縮可とう管補強工事・舗装本復旧工事 調査2 伸縮可とう管支障物件調査業務

水管橋や各種弁室・制御室の前後など、管路上に設置された伸縮可とう管の変位量を令和5年度までに調査を完了しており、補強が必要とされた69箇所中、令和7年度までに63箇所の補強が完了し、現在、2箇所が施工中となっており、令和8年度は、さらに3箇所の補強工事を発注するとともに、近接しているガス管の支障物件の事前調査を実施します。

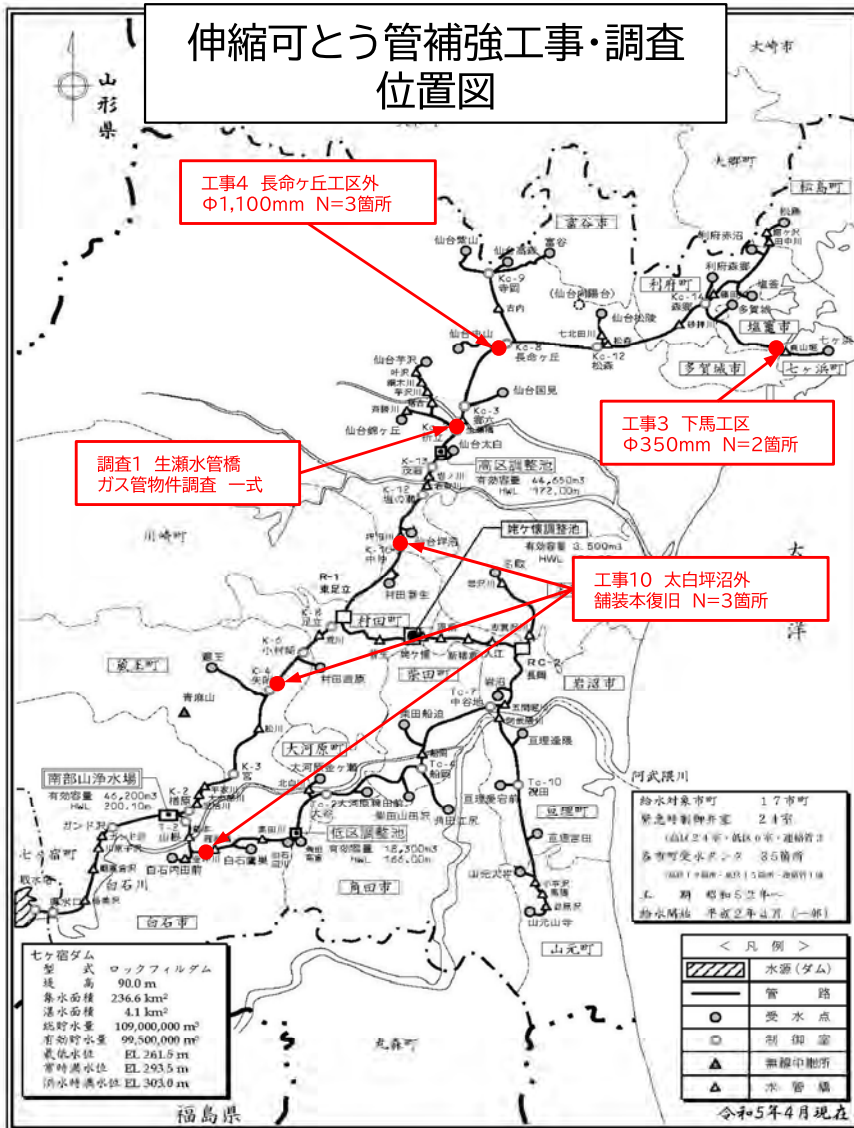
また、昨年度に伸縮可とう管補強工事が完了した箇所は、舗装本復旧を一部実施します。

【令和8年度概要】

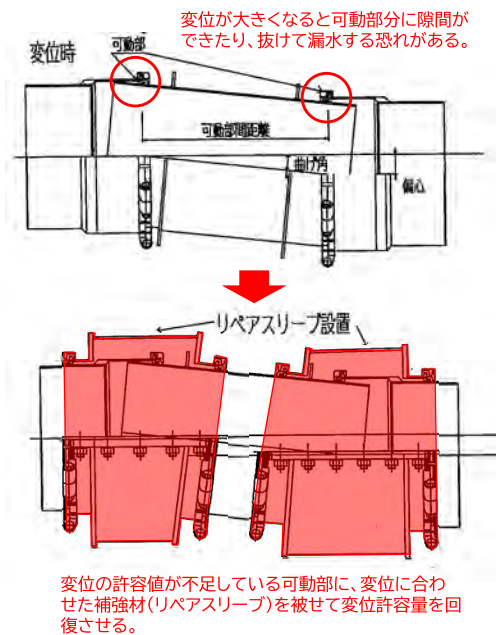
- 工事3 下馬伸縮可とう管補強工事 $\phi 350\text{mm}$ N=2箇所
(R7~R8債務負担工事)
- 工事4 長命ヶ丘外伸縮可とう管補強工事 $\phi 1,100\text{mm}$ N=3箇所
(R8~R10継続工事)
- 工事9 太白坪沼舗装本復旧工事 N=3箇所
- 調査2 生瀬水管橋外伸縮可とう管支障物件調査業務委託 ガス管物件調査 一式

区分	全数	~R6	R7	R8	R9	R10	合計
現況調査	237箇所	237	-	-	-	-	237箇所
補強工事	69箇所	55	8	(※)2	0	(※)4	69箇所

※完了予定=R8:国道45号N=2箇所、R10:仙台北環状線N=3箇所・折立交差点N=1箇所



補強イメージ図



補強対策完了状況(参考)



工事5・10 浄水池頂版(1系・2系)補強工事

設計3 浄水池頂版(2系)補強詳細設計業務委託

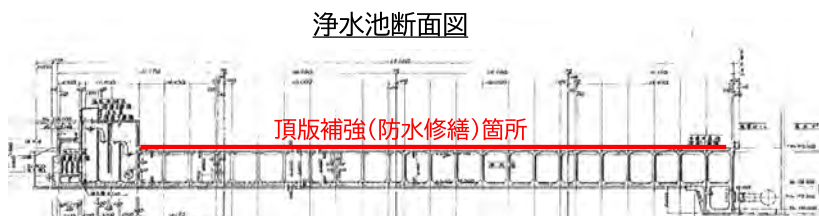
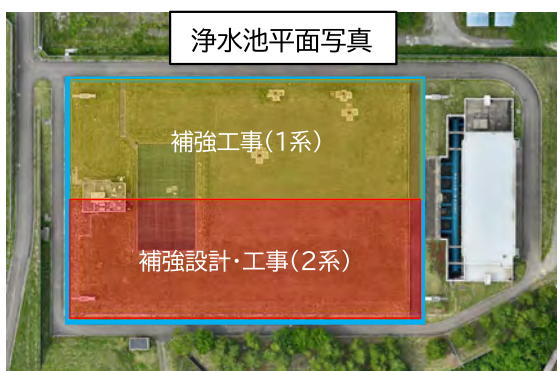
南部山浄水場の浄水池は、令和5年度の池内部清掃の際に壁面の一部剥離とともに頂版(天井)の目地部分から水漏れが確認されました。

応急修繕を実施したものの水漏れは継続しており、頂版外側の防水工の劣化進行も想定されることから、目地を含めた防水工全体を大規模に補強するものです。

令和8年度は、現在運用を停止している浄水池(1系)の繰越工事である頂版補強工事の完成を図ったうえで、浄水池(2系)の頂版補強の詳細設計業務と補強工事に着手します。

【令和8年度概要】

工事 5	浄水池頂版(1系)補強工事(R7繰越)	目地補強工	一式、縁石改良工	一式
工事10	浄水池頂版(2系)補強工事	目地補強工	一式、縁石改良工	一式
設計 3	浄水池頂版(2系)詳細設計業務委託	頂版補強設計	一式	



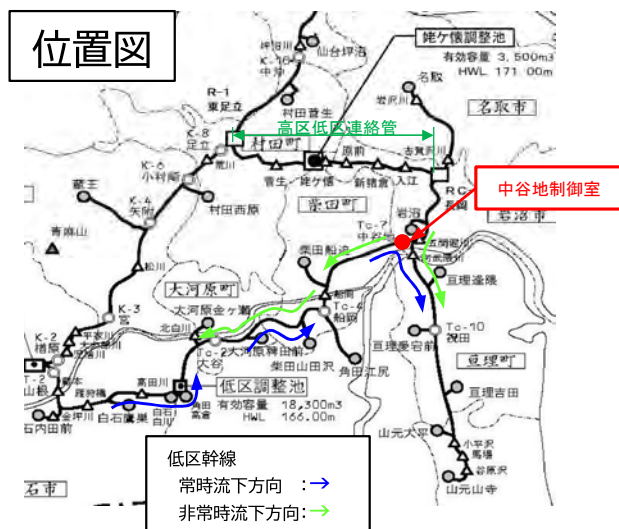
工事6 中谷地制御室排泥弁設置工事

令和5年1月に完成し、運用を開始した高区・低区送水連絡管による亘理・山元方面への逆送水を行う際、送水停止することなく洗管で生じる濁水を排水するため、分岐点である中谷地制御室内に新たな排水設備(排泥弁)を整備するものです。

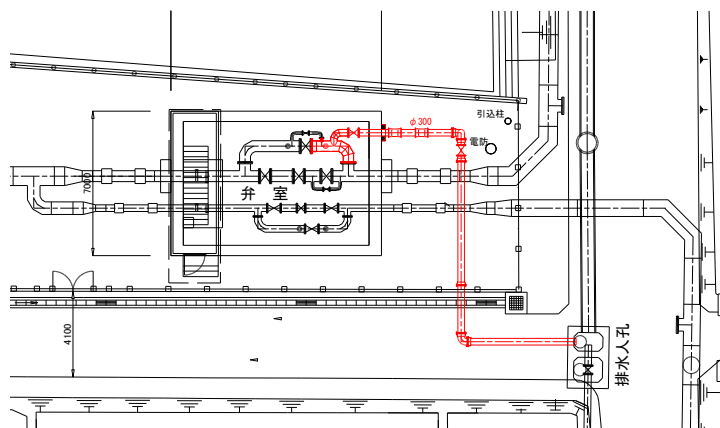
令和8年度は、制御室内既存管路への排泥弁設置と、流末までの排水管布設工事を実施します。

【令和8年度概要】

工事6	中谷地制御室排泥弁設置工事(R7繰越)	排泥弁設置工	N=1箇所
-----	---------------------	--------	-------



中谷地制御室排泥弁計画平面図



工事7 船岡水管橋支承修繕工事

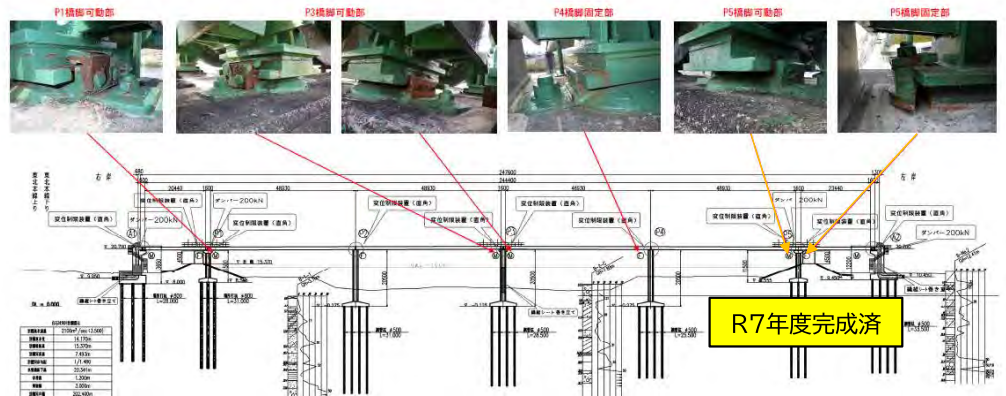
白石川を渡河する低区幹線の船岡水管橋について、令和4年10月の巡回点検時に支承及び変位制限装置の一部が破損していることが判明し、同年の緊急修繕工事で変位及び一部装置の修繕を行い、令和6年度に右岸側からの修繕工事に着手しており、令和7年度から左岸側の修繕工事を実施しており、令和8年中の完成を目指しています。

【令和8年度概要】

工事7 船岡水管橋支承修繕工事(R7繰越) 支承修繕 一式

位置図

橋梁一般図



工事8 砂押川水管橋外電気防食設備設置工事 調査3 足立外連絡管電気防食設備調査業務委託

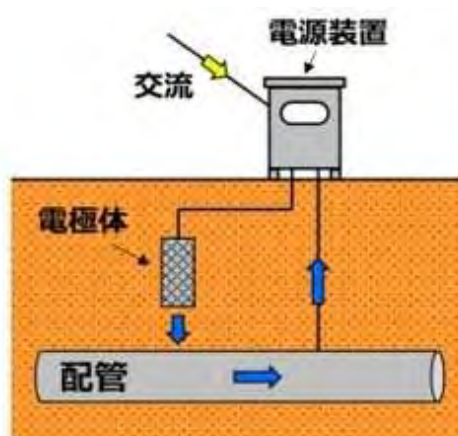
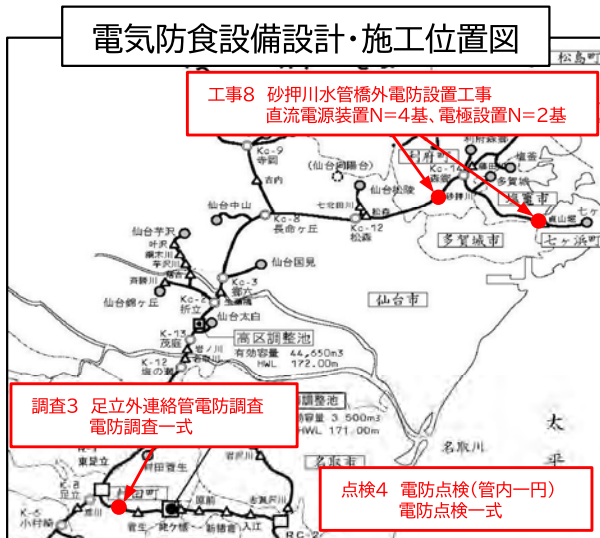
管路(おもに鋼管)は、電氣的に腐食を防止する装置(電気防食装置)が設置されていますが、保守点検や工事等により電気防食が必要とされた箇所について、新たな電気防食装置の設置工事を実施し、腐食による漏水発生を防止します。

【令和8年度概要】

工事8 砂押川水管橋外電気防食設備設置工事 直流電源装置 一式、電極設置 一式
調査3 足立外連絡管電気防食設備調査業務委託 電気防食設備調査 一式

電気防食設備設計・施工位置図

電気防食設備(外部電源方式)概要図



・電防方式は外部電源方式、流電陽極方式の2種類がある。
・設置深さにより、浅埋設方式、深埋設式の2種類がある。

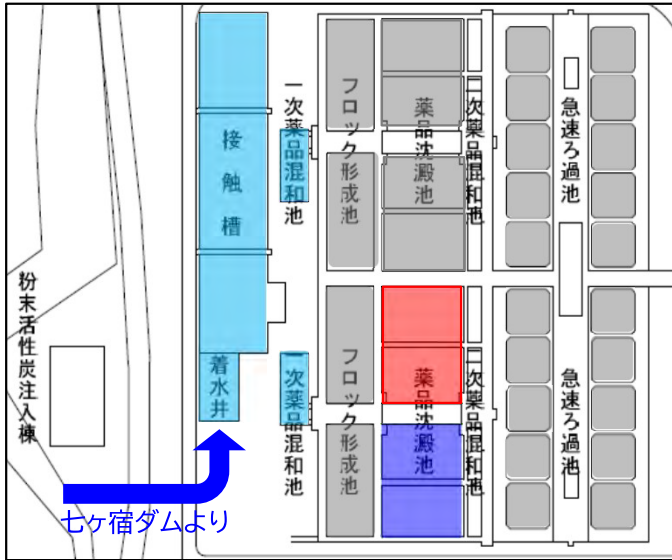
工事11 沈殿池(No3)覆蓋設置工事

蔵王山では、平成27年4月、平成30年1月に火口周辺警報(火口周辺危険)が発令されており、「蔵王山噴火緊急減災対策砂防計画(東北地方整備局)」では、南部山浄水場において1cmの降灰が想定されています。

降灰に起因する水質悪化、清掃作業に伴う水処理停止等の事態を防ぐため、当浄水場においては、蔵王山噴火対策として開放型の浄水施設に覆蓋を設置し、有事に備えています。

【令和8年度概要】

工事11 沈殿池(No3)覆蓋設置工事 覆蓋設置N=1池



■:完成 ■:R8年度 ■:R9年度予定 ■:R10以降

工事12 松島海岸IC送水管移設工事

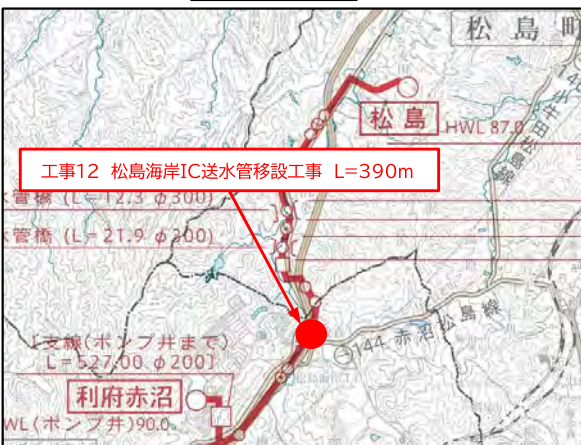
三陸縦貫自動車道の一部を形成している仙台松島道路は東日本大震災後、三陸縦貫自動車道の延伸及び石巻までの全線4車線化等により、交通量が大幅に増加しています。

このことから、道路管理者である宮城県道路公社が実施する松島海岸IC改修事業に伴い、支障となる送水管を移設するものです。

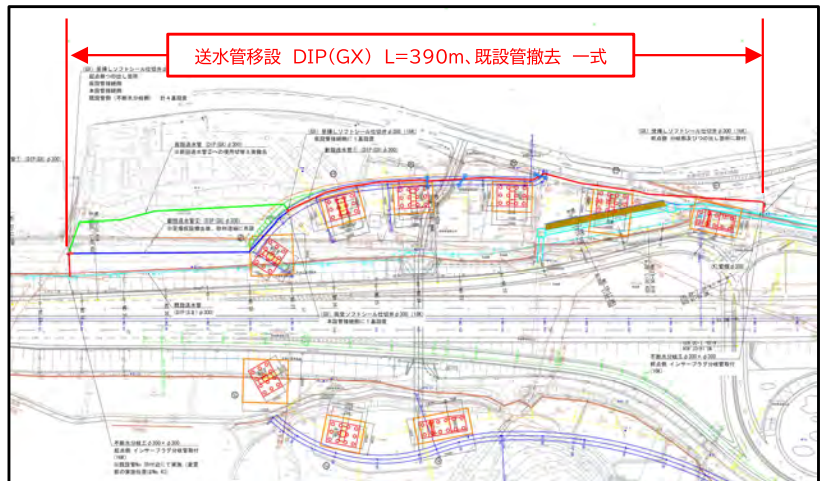
【令和8年度概要】

工事12 松島海岸IC送水管移設工事 L=390m
(R8~R10継続工事)

位置図



平面図

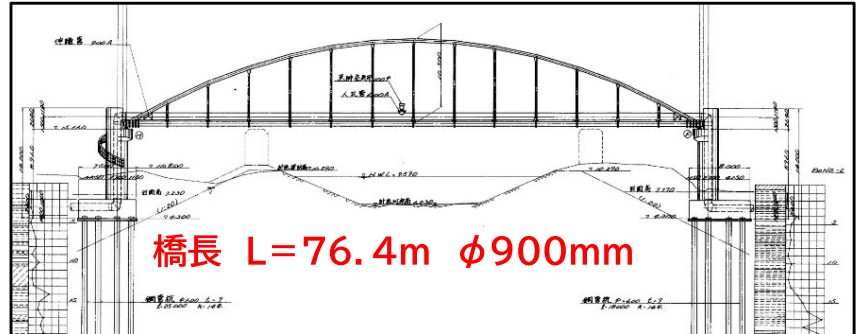


工事13 砂押川水管橋塗裝修繕工事

仙南・仙塩広域水道の導送水施設のうち、比較的川幅の広い河川等を横断する場合の構造は維持管理の容易さ、水密性の確保、経済性などの理由から水管橋形式となっていますが、水管橋は日光や風雨等の過酷な気象条件にさらされている施設であり、また、気温の上昇と水温との温度差による結露などでその塗装膜の劣化が甚だしくなっている水管橋の塗裝修繕工事をするものです。

【令和8年度概要】

工事13 砂押川水管橋塗裝修繕工事 A=1,560㎡



工事14 送水施設護岸修繕工事

工事15 送水施設マンホール・標識修繕工事

管路巡視点検等により劣化、老朽化が確認された送水施設の護岸、マンホール、標識、防護柵等について、順次、修繕・取替工事等を実施し、適切な機能維持を図ります。

【令和8年度概要】

工事14 送水施設護岸修繕工事 ブロック積工A=31㎡、根固工 一式

工事15 送水施設マンホール・標識修繕工事 マンホール・標識修繕 一式

管理用道路橋の
護岸破損状況



マンホールの
経年劣化状況



管路標識の
経年劣化状況



工事16 南部山浄水場小水力発電施設建設工事

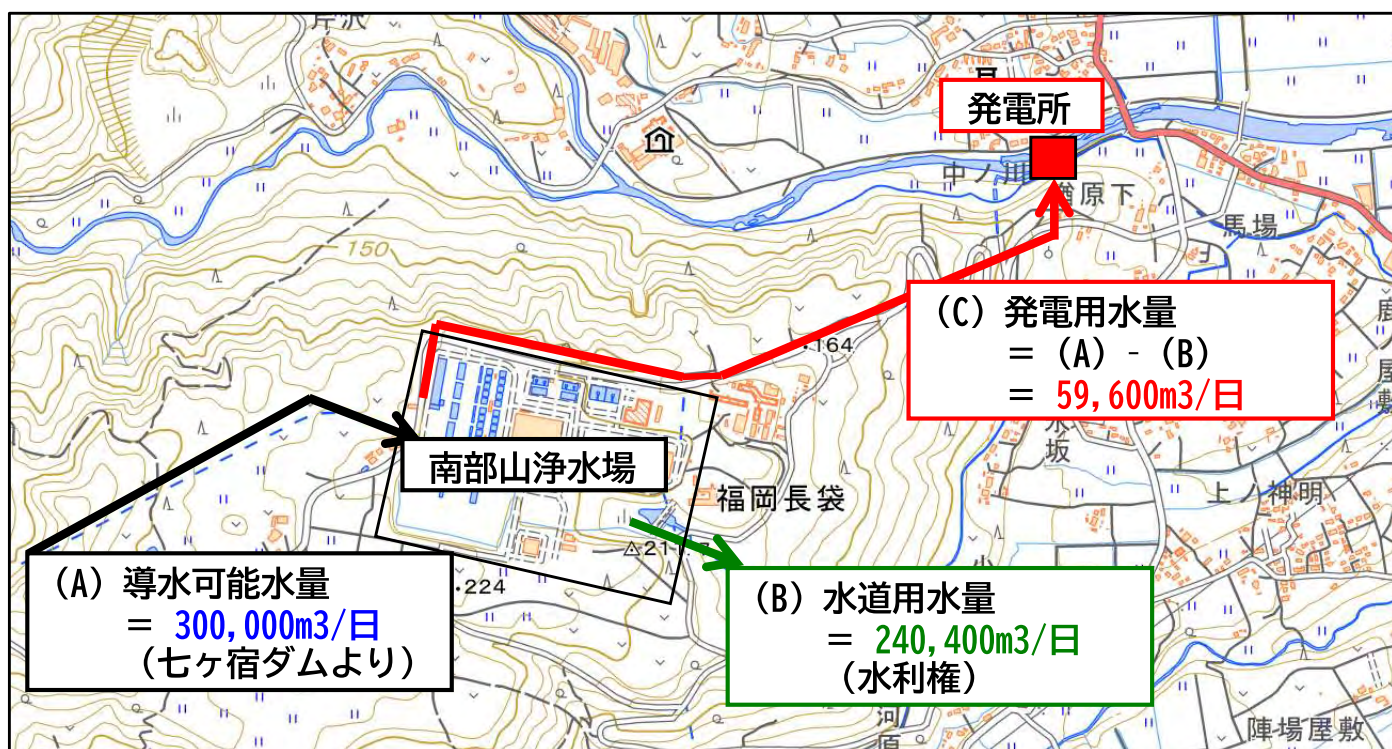
計画取水量と許可水利権との差分量59,600m³/日を活用し、水道用水供給事業の附帯事業として水力発電を行うため、発電所を建設する工事を実施しています。

工事は設計・施工一括で発注されており、現在、土木、建築、設備の各工程を調整しながら工事を実施しており、令和9年度の売電開始に向けて本工事は最盛期を迎えます。

【令和8年度概要】

工事16 南部山浄水場小水力発電施設建設工事 発電設備 一式
 (R5～R8継続工事) 導水管 一式

事業名	ダム名	ダム使用権：m ³ /日	水利権：m ³ /日	未利用分：m ³ /日
仙南・仙塩 広域水道	七ヶ宿ダム (ダム取水)	(A) 300,000	(B) 240,400	(C)=(A)-(B) 59,600
	七ヶ宿ダム (河道取水)	295,000	0	295,000
合 計		595,000	240,400	354,600



航空写真の全体計画図



生成AIで合成した建屋完成予想図

設計1 着水井耐震補強実施設計業務委託

設計2 高区調整池耐震補強実施設計業務委託

調査1 洗浄水槽耐震診断業務委託

仙南・仙塩広域水道用水供給事業の池構造となっている基幹土木施設は、平成2年度の供用開始から35年が経過しており、現在の耐震設計指針に求められる耐震性能を満たしていないものもあることから、平成22年度に耐震診断(一次及び二次)を行い、対策が必要とされた施設に対しては耐震設計・工事を順次実施しています。

令和8年度は、耐震補強が必要とされている浄水施設における着水井、送水施設における高区調整池の耐震詳細設計を実施します。また、浄水施設の洗浄水槽の耐震診断を実施して耐震性能の確認をすることとしています。

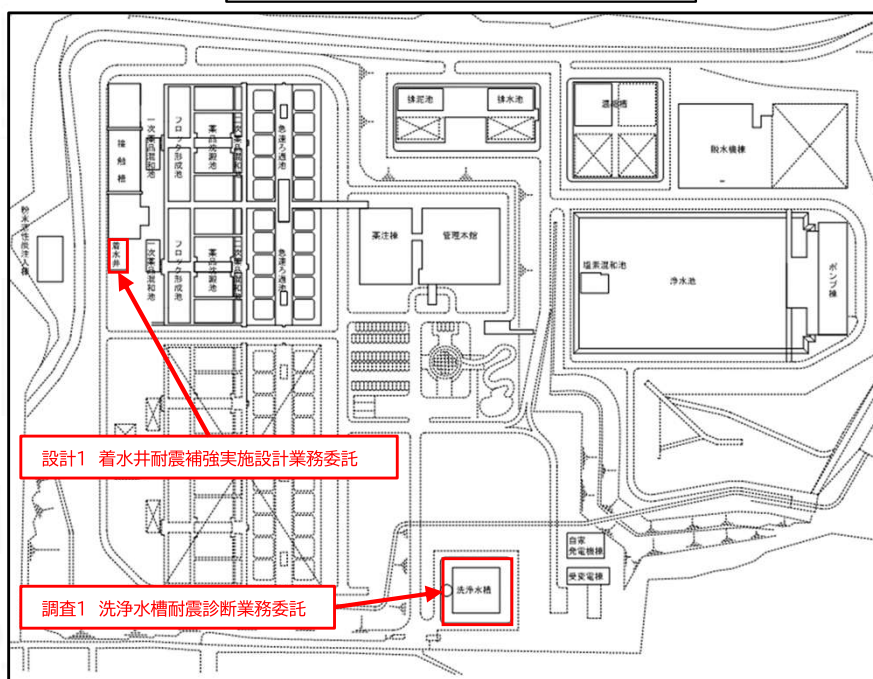
【令和8年度概要】

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 設計1 着水井耐震補強実施設計業務委託 | 耐震詳細設計 一式 |
| 設計2 高区調整池耐震補強実施設計業務委託 | 耐震詳細設計 一式 |
| 調査1 洗浄水槽耐震診断業務委託 | 耐震診断 一式 |

全体位置図



南部山浄水場 全体平面図



検査1 水道水質基準項目等検査業務

水道水の安全性を確認するため、水道法で定められた水質基準項目、水質管理上留意すべき項目等について水質検査を行う必要があります。

県では、国土交通大臣等の登録を受けた水質検査機関に水質検査を委託し、浄水場内の浄水池や各市町の受水池等において水質確認を行っています。

【令和8年度概要】

検査1 水道水質基準項目等検査業務委託 水質基準項目(52項目)
水質管理目標設定項目(26項目)
自主管理項目(農薬類115項目)
要検討項目(25項目) 外

出典：宮城県公害衛生検査センターHP



点検1～6 送水施設(管路・各種設備等)巡回保守点検業務

七ヶ宿ダムから浄水場までの導水管や浄水場から各受水市町への送水管など、総延長約215kmに及ぶ管路は水道用水供給事業の要であり、定期的な現状確認は水道水の安定供給のため重要な役割を担っています。

巡回点検は管内を6つに区分し、各工区月2回の定期巡回のほか、地震等災害発生時には緊急点検を実施して、要修繕箇所や異常箇所の早期発見・対応に努めています。

なお、管路中の制水弁や排泥弁、空気弁といった弁類は、開閉のために動かす必要があるため、可動状況について別途点検を実施しています。

また、送水施設の監視・制御のため各種設備が整備されていますが、管路の維持に要する設備(電気防食設備)や監視に要する設備(水質監視装置)などは県が管理しています。これらの設備も機能が正常に維持されているかどうか、管路同様定期的に点検を行っています。

【令和8年度概要】

点検1 送水施設等巡回点検(高区1～4工区)業務委託 巡回総延長 L=310.6km

点検2 送水施設巡回点検(低区1～2工区)業務委託 巡回総延長 L=175.1km

点検3 高区系外各種弁類点検業務委託 弁類点検 N=644箇所

点検4 送水管電気防食設備保守点検業務委託 点検 N=1回/年/箇所(93箇所)

点検5 末端受水地点水質監視装置点検業務委託 点検 N=12回/年/箇所(2箇所)

点検6 移動無線設備保守点検業務委託 点検 N=6台

(点検1～5は3ヶ年長期継続契約)



水管橋点検



流量計室内配管点検



マンホール点検



電気防食装置(外電方式)点検



末端受水池水質監視装置点検



移動無線機点検

点検7 生瀬水管橋外定期点検業務委託

水管橋の点検については、これまでも管路の巡回点検において外観の目視確認は行っていましたが、令和3年10月に発生した和歌山県での水管橋落橋事故を受けて、より構造部材に着目した定期点検を5年に1回行う計画で令和4年度から順次実施しています。点検にあたってはUAV、ポールカメラ等も活用し、直接目視の難しい箇所を静止画・動画により確認し、点検記録調書を作成しています。

【令和8年度概要】

点検7 生瀬水管橋外定期点検業務委託 N=8橋(下図参照)



点検記録調書の作成例



UAVを利用した点検状況

設計4 藤田川水管橋支承修繕詳細設計業務委託

藤田川水管橋は昭和53年度に建設されていますが、令和6年度の水管橋定期点検により、支承部が浮き上がっていることが判明しました。

藤田川水管橋はA1側が支承、A2側がコンクリートで固定されている水管橋であるため、直ちに落橋の恐れはないと思われませんが、大規模な地震等により許容応力度を超え、落橋する恐れがあるため、早急に修繕設計を実施するものです。

【令和8年度概要】

設計4 藤田川水管橋支承修繕詳細設計業務委託 支承修繕詳細設計 一式



設計4 藤田川水管橋支承修繕詳細設計業務委託 支承修繕詳細設計一式



藤田川水管橋の全景

支承の損傷状況





表紙:南部山浄水場 全景ほか

裏表紙:南部山浄水場 水神宮石碑ほか